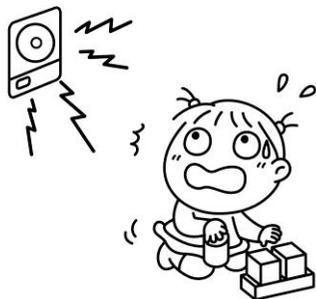


こまった こまった どうしよう…

〈感覚過敏〉

こんなことってないですか？

- 手をつないで歩かない
- 抱っこされると反り返る
- 掃除機や花火の音が怖い
- 極端な偏食がある など



子どもたちは、どう感じてるんだろう？

- 手つなぎや抱っこは、痛い感じがするのかな？
- 爆弾が破裂したように聞こえているのかな？
- 食べ物の歯触りや温度が嫌なのかな？

私たちが思っているよりも、音や匂いに敏感なお子さんもいます。
日常生活に困っていることがあるかもしれません。

対応って、どうするの？

- ☆ 安心感を高める
 - 嫌な刺激を遠ざける…その場から離れる
 - 見えないようにする…布で隠すなど
 - 事前に伝えていく…「今日は電車にのるよ」など
- ☆ 子どもの状態を周囲の人に理解してもらう
 - 周囲の大人に子どもの状態を伝えていく
「うちの子、カーテン揺れるの怖いみたい…」
 - お母さんやお父さんが困っていることを伝えていく
「トイレの音が怖くて逃げちゃうの。どうしたらいい？」



大切なのは、感覚の敏感さがあることを理解して

子どものペースに合わせて環境を整えることです。

それぞれの成長や経験により、敏感さと上手に付き

合っていけるようになります。気長に見守りましょう！

